

履歴書（記入例）

履 歴 書			
フリガナ 氏 名	**** **** ○ ○ ○ ○	男・女	本籍地 ○ ○ 都 道 府 県
生年月日 (年齢)	昭和○○年○月○日生 (歳)	現住所	札幌市○区○○条○丁目○ー○
学 歴			
年 月	事 項		
昭和○○年 ○月	○○高等学校卒業		
昭和○○年 ○月	○○大学○○学部○学科卒業		
昭和○○年 ○月	○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程入学		
昭和○○年 ○月	同 修士課程修了		
昭和○○年 ○月	○○大学大学院○○研究科○○専攻博士課程入学		
昭和○○年 ○月	同 博士単位取得満期退学		
昭和○○年 ○月	(看護師・社会福祉士等) 免許取得 (第○○○○号)		
平成 ○年 ○月	○○資格取得 (第○○○○号)		
職 歴			
年 月	事 項		
昭和○○年 ○月	○○大学○○学部研究生 (～○○年 ○月まで)		
昭和○○年 ○月	○○大学○○学部助手		
昭和○○年 ○月	○○大学○○学部講師 (○○○○学)		
昭和○○年 ○月	○○大学○○学部教授 (○○○○論) (現在に至る)		
昭和○○年 ○月	○○大学○○学部兼任講師 (○○○○学、～○○年 ○月まで)		
昭和○○年 ○月	教員組織審査 ○○大学大学院○研究科○○専攻 教授 Dマル合 (○○○論、○○ ○○学)		

※ 「職歴」のうち、教育歴については可能な限り具体的に記載して下さい。

学会および社会における活動								
年 月		事 項						
昭和〇〇年 〇月		(学会における活動) 日本〇〇学会会員						
昭和〇〇年 〇月		日本〇〇学会評議員						
昭和〇〇年 〇月		(社会における活動) 〇〇省〇〇審議会委員						
賞 罰								
年 月		事 項						
昭和〇〇年 〇月		〇〇賞受賞						
職 務 の 状 況								
勤 務 先	職 名	学部, 学科等 (所属部局)の名称	担当授業科目名	年間担当授業時間数				備考
				専 任	兼 担	兼 任	計	
	教授	〇〇学部〇〇学科	(前) 2.0			(前) 2.0	
			(後) 1.0			(後) 1.0	
〇〇大学	講師	〇〇学部〇〇学科			1.0	1.0	
平成〇〇年 〇月〇〇日								
上記のとおり相違ありません。								
氏名 〇〇〇〇 印								

1. 学歴欄

- (1) 大学の別科・専攻科は学歴欄に記入してください。また、中途退学であっても省略せずに記入してください。
- (2) 学位及び医師、歯科医師、薬剤師、看護師、社会福祉士、臨床心理士等の資格について記入してください。外国の資格は正確に記載し、原語も併記してください。
- (3) 学生として留学の場合は、学歴欄に記載してください。

2. 職歴欄

- (1) 研究生・副手・聴講生等については職歴欄に記載してください。
- (2) 研究者として留学の場合は、職歴欄に記載してください。
- (3) 職歴のすべてについて記入し、職名・地位・期間等が明確になるように記入し、特に担当科目に直接関係ある職歴についてはできるだけ具体的に記載してください。大学の教員の職歴については、主な担当授業科目を()で付記してください。
- (4) 過去に大学院、大学等の設置または増設の認可申請において大学設置審議会専門委員会の教員組織審査において、教員の資格があると認められた場合は、教員組織審査に係る大学名、審査年月、職名及び担当授業科目名(大学院にあっては、判定結果を含む)を記載してください。
- (5) 自営業、無業についても記載してください。

3. 学会および社会における活動等

専攻・研究分野等に関連した事項について記入してください。

4. 教育の状況

- (1) 大学以外に勤務されている場合は、勤務先・職名・所属部署を記入し、備考欄に職務内容を記入してください。
- (2) 1コマ2時間として計算してください。
- (3) 前期または後期のみの開講の場合は、時間数に(前)・(後)を付してください。
- (4) 兼担は自大学の他学部等の授業科目担当の場合であり、兼任は他大学で非常勤講師として授業科目を担当する場合をいいます。